

石川県七尾美術館だより

平成15年7月5日発行
編集・発行 石川県七尾美術館

第34号(夏号)



『竹林猿猴図屏風』(6曲1双部分)長谷川等伯筆

『竹鶴図屏風』(6曲1双部分)長谷川等伯筆

『竹虎図屏風』(6曲1双部分)長谷川等伯筆

『松に鴉・柳に白鷺図屏風』(6曲1双部分)長谷川等伯筆

は相國寺・承天閣美術館蔵、～ は出光美術館蔵

ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

「長谷川等伯展 - 描かれた動物たち - 」より



展覧会紹介

平成15年7月5日(土)～

10月5日(日)

休館日については裏表紙をご覧ください

「長谷川等伯展」描かれた動物たち」

9月6日(土)～10月5日(日)

「会期中無休」

第一・第二展示室

平成八年度から始まった「長谷川等伯シリーズ展」も、今年で八回目を迎えます。

長谷川等伯(一五三九～一六一〇)は仏画、肖像画、花鳥画、山水画など色々な画題を手掛けていますが、動物描写にも定評があり様々な動物たちを巧みに描いています。本年は、等伯研究でも知られる出光美術館にご協力いただき、同館所蔵の水墨画を中心に動物が描かれた作品を紹介いたします。また、一部長谷川派の作品と、昨年七尾市が購入した「陳希夷睡図」も特別展示します。

描かれた動物の夫婦や親子は愛情豊かに表現され、それはまるで等伯自身の姿のようでもありません。点数は決して多くありませんが、本展を通して等伯の卓越した観察力と描写力を直に感じると共に、人間等伯にもふれていただけたら幸いです。



「陳希夷睡図」長谷川信春(等伯)筆 当館蔵

【特別展示】

昨年十月、七尾市は信春(等伯)筆の水墨画

「陳希夷睡図」を購入しました。今年の一月四日から約二ヶ月間「冬季・所蔵品展」で初公開しましたが、前回見逃した方々のご要望にお応えして、今回特別展示いたします。

五代宋初期、太宗より陳希夷の号を賜ったと言われる隠士陳搏は、時には三年も眠り続けたと伝えられます。樹下で脇息に寄りかかって眠る姿は、なんとモコモラスです。

狩野派や雪舟の影響が見られる画面と、主に狩野派が使用した鼎形「信春」印によって、不透明であった四十歳代の動向が次第に明らかとなっていくのです。



「涅槃図」長谷川信春(等伯)筆 妙成寺蔵

【仏画の中の動物たち】

等伯の描いた仏画には様々な動物が登場します。「十六羅漢図」や「愛宕権現図」もそうですが、「涅槃図」は涅槃に入る釈迦の死を嘆き悲しんで集まってきた動物たちが仏弟子たちと共に描かれており、特に目を引きます。

画派によって、筆致は勿論のこと登場する動物やそれぞれの配置もかなり異なります。また、仏画の場合は一般的なスタイルもあり、絵手本とす

る作品もあると思われませんが、動物たちの描写はやはり群を抜いています。また、三十歳で描いた「涅槃図」は誠に色鮮やかで、仏の世界を思わせます。

【水墨による動物たち】

晩年の等伯は水墨画に美の境地を求め、牧谿画などの影響を受けながらも独自の表現を試みていきます。

牧谿画観賞体験から生まれた「竹林猿猴図屏風」は、戯れる母子猿と、木を伝ってそこへ近づこうとする父猿を描いたもので、画面全体から柔らかな光と親子の情愛が溢れ出ています。

「松に鴉・柳に白鷺図屏風」も鴉の親子、白鷺の番が描かれ、

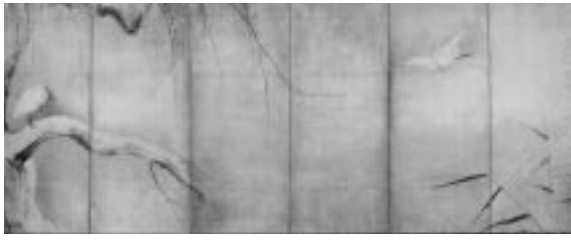
「竹鶴図屏風」も巢籠もりする雌と、雌を守るうとして雄がモチーフです。また、「竹虎図屏風」画面には「周文真筆」との狩野探幽による書き込みがあるものの、筆致を見るにその筆者は等伯以外には考えにくく、二頭の虎も猫に見られる雌雄の情愛表現と見られ、他の水墨画と非常に共通するものが感じられるのです。

今回はその他、等伯の四男・左近が描いた「波龍図屏風」と、等伯筆の可能性が指摘されている「波龍図屏風」を同時に展示します。



「竹林猿猴図屏風」(6曲1双内右隻)長谷川等伯筆 相國寺・承天閣美術館蔵

本展会期中の九月十五日(月・祝)、出光美術館の学芸課長・黒田泰三氏による特別講演会を開催いたします。詳しくは七ページをご覧ください。



「松に鴉・柳に白鷺図屏風」長谷川等伯筆 出光美術館蔵



「竹虎図屏風」長谷川等伯筆 出光美術館蔵

出品予定作品

- () 〓 重文、 〓 県文、 〓 市町村文)
- 「陳希夷睡図」 長谷川信春(等伯)筆
紙本墨画 一幅 石川県七尾美術館
- 「愛宕権現図」 長谷川信春(等伯)筆
絹本着色 一幅 石川県七尾美術館
- 「海棠に雀図」 長谷川信春(等伯)筆
紙本着色 一幅 鳥根・安来家
- 「涅槃図」 長谷川信春(等伯)筆
絹本着色 一幅 石川・妙成寺
- 「涅槃図」 長谷川派筆
絹本着色 一幅 石川・来迎寺
- 「波龍図屏風」 長谷川左近(等重)筆
紙本墨画 六曲二双内巻 高野山・金剛三昧院
- 「波龍図屏風」 伝長谷川等伯筆
紙本墨画 六曲一雙 京都・本法寺
- 「竹林猿猴図屏風」 長谷川等伯筆
紙本墨画 六曲一雙 相國寺・承天閣美術館
- 「松に鴉・柳に白鷺図」 長谷川等伯筆
紙本墨画 六曲一雙 出光美術館
- 「竹鶴図屏風」 長谷川等伯筆
紙本墨画 六曲一雙 出光美術館
- 「竹虎図屏風」 長谷川等伯筆
紙本墨画 六曲一雙 出光美術館

会期中、等伯関連の図書コーナーも設けます。等伯のオリジナルハイビジョンコーナーでは、作品を年代毎に収録した五本の静止画番組と、大きな歴史的流れの中での等伯の軌跡を収録した動画番組一本から、見たい番組を自由にお選びいただけます。

会期中、子どもワークショップを開催します。詳しくは七ページをご覧ください。

会期中、「等伯子どもなんでもクイズ」も実施します。

共通観覧料

	個人	団体
一般	700円	600円
大高生	350円	300円

中学生以下無料・団体は二十名以上です。「所蔵品展」と共通料金です。

「所蔵品展」

「石川県ゆかりの画家たち」

9月6日(土)～10月5日(日)

「会期中無休」

第三展示室

当館所蔵作品及び寄託作品から、石川県ゆかりの画家たちが描く日本画・洋画を紹介します。

《出品予定作品》

- 「土 偶」 上田 珪草
- 「帰らない日」 加戸ひとみ
- 「Floor」 佐藤 俊介
- 「絶域涛声」 水道 秋聖
- 「屋根 根」 古澤 洋子
- 「街の隙間」 府坡 綾子



「屋根」古澤 洋子

洋画

- 「鎧」 太佐寿一郎
- 「イエールの街角」 田辺栄次郎
- 「Melancholy」 中村 静勇
- 「ラクリマ・クリステイ(白い気配)」 西房 浩二
- 「バレリーナ」 八野田 博
- 「不倒の阿形像」 堀場 良夫
- 「見透せぬ窓」 前田さなみ



「鎧」太佐寿一郎

観覧料は「長谷川等伯展」と共通料金です。

能登空港開港記念3館合同企画展事業

特別展「能登の魅力

「豊かな自然との出会い」

7月5日(土)～8月31日(日)

〔会期中無休〕

第二展示室

能登地方の新しい空の玄関口・能登空港の開港を記念して、石川県輪島漆芸美術館・石川県能登島ガラス美術館・当館の三美術館による合同企画展を開催いたします。

三館での協同展覧会は今回初めての企画であり、能登の美術館としてこれまで各館が収集・展示してきた特色ある所蔵品より、自然や風土などを表現した作品を展示、それらの美術品を通じた形で能登地方の魅力を紹介いたします。

なお、本展は三館同時開催で「能登の魅力」をタイトルに、各館が三者三様の視点で副題を設定していますが、当館のテーマは「豊かな自然との出会い」です。

能登半島は三方を海に囲まれた地理的要因によって、古くより海と深く関わってきた歴史を持っています。また、現在も変わる事のない豊かな自然のいとなみは、素朴で温かい人々の印象と共にやさしさや懐かしさを感じさせ、それが能登の大きな魅力といえるでしょう。



「SHARED HORIZON」
Michael ROGERS
石川県能登島ガラス美術館蔵

そこで本展では能登のイメージとして能登空港の「空」、能登を育んできた「海」、それから「能登の風土」の三つのキーワードで、輪島漆芸美術館、能登島ガラス美術館の作品を加えて、絵画、漆芸、ガラス作品など計三十点を紹介します。

特別展「能登の魅力」輪島・能登島各会場のテーマです。回展もあわせてご覧ください。

* 輪島漆芸美術館 「景色との交感」

* 能登島ガラス美術館

「光と夢」自然への想い

本展ではスタンブラーを実施します。各館ご観覧時に本展チラシにスタンブを押しして頂き、三館分が揃いますと能登空港と各美術館のオリジナルグッズをプレゼントします。

本展期間中、能登空港ご利用の方は観覧料が割引(五〇〇円 四〇〇円)になります(搭乗券及び搭乗券半券提示が必要です)。



「巖門夕照」 水道秋聖 当館蔵

共通観覧料

一般	個人	団体
500円	350円	400円
350円	300円	300円

中学生以下無料・団体は二十名以上です。同時開催の池田コレクション選抜展と共通料金です。

「池田コレクション選抜展」

7月5日(土)～8月31日(日)

〔会期中無休〕

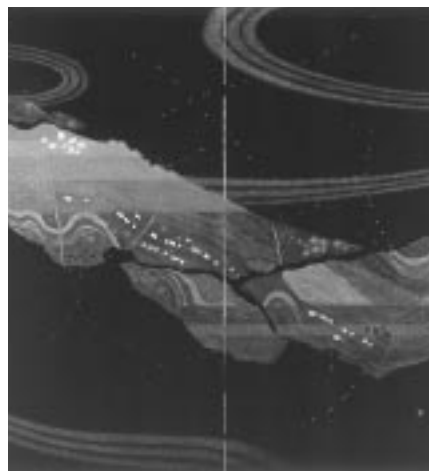
第一展示室

当館所蔵品の中核・「池田コレクション」より工芸・絵画を中心に優れた作品を紹介します。

なお、特別展示として長谷川信春(等伯)筆の「達磨図」(七尾市・龍門寺蔵、県文)をあわせて紹介する予定です。



「松図」熊谷守一
当館蔵



「耀」井波唯志 石川県輪島漆芸美術館蔵

「モントレー・ジャズ・フェスティバル
ポスター展」

7月23日(水)～8月6日(水)
「会期中無休」

第三展室

七尾市の姉妹都市であるモントレー市(米・カリフォルニア州)は「世界三大ジャズフェスティバル」の開催地として知られています。

七月二十五日(金)～二十七日(日)に七尾・和倉温泉で開催される「モントレー・ジャズ・フェスティバル(MJF)in能登」にあわせ、モントレー市より平成八年に七尾市・和倉温泉観光協会・和倉温泉旅館協同組合に友好の記念として贈られたMJFポスターを一堂に展示・紹介します。

EARL NEWMANがリトグラフで制作した貴重な版画ポスターなど、ジャズの世界を色鮮やかに、そして躍動的に描いた作品約五十点を、この機会に是非ご堪能ください。

観覧料は「特別展 能登の魅力」池田コレクション選抜展」と共通料金です。

市民ギャラリー 展覧会案内

第8回 七尾日創展

7月10日(木)～13日(日)
但し、初日は午後2時から
最終日は午後3時まで

公募による日本画を中心とした絵画約六十点を展示します。若手作家の生きいきとした個性あふれる作品から、ベテラン作家のじつくりと描いた

作品まで、ごゆっくりご鑑賞ください。

入場料 無料

主催 日創会(代表 丹羽俊夫)

共催 北國新聞社

後援 石川県・石川県教育委員会・七尾市教育委員会・能登島町教育委員会・鹿島町教育委員会・NHK金沢放送局・北陸放送・テレビ金沢・ラジオななお

協賛

金城大学

三宅厚史

連絡先

☎〇七六七(七七)一三六八

第62回七尾港まつり協賛

第9回 七尾美術作家協会展

7月17日(木)～21日(月)
但し、最終日は午後4時まで

七十四名の全会員の作品を展示します。また、協会展のあと、作品を鳥屋町ふるさと創修館へ移動して、八月二十日(水)まで、鳥屋展を開催します。ご高覧ください。

入場料 無料

主催 七尾美術作家協会

後援 七尾市教育委員会・七尾商工会議所・北國新聞社・ラジオななお・テレビ金沢・七尾市文化協会

連絡先

七尾美術作家協会事務局長 木本香泉

☎〇七六七(五二)四〇一一

第13回 彩虹画展

8月8日(金)～10日(日)
但し、最終日は午後4時まで

能登の洋画四団体の合同展で、七尾市の彩の会グループ虹、英の会と志賀町の画好会を合わせた会員約五十人が人物や風景、静物など大作から小品まで五十～六十点の近作を展示、発表します。

入場料 無料

主催 彩虹画会

後援 七尾市教育委員会・七尾市文化協会・北國新聞社・ラジオななお

連絡先

加地 求

☎〇七六七(五二)一六一三

水墨画比古呂会掛軸展

8月13日(水)～17日(日)
但し、初日は午後1時から
最終日は午後3時まで

水墨画家竹中幸生が指導する教室で今回は六水と押水が中心となり、それに本部からの選抜会員を加え、全員が軸装により発表します。墨彩画等もあり、会員一人一人が思い思いに描いた作品を多くの方々に鑑賞していただければ幸いです。

入場料 無料

主催 水墨画比古呂会

後援 北國新聞社

連絡先 水墨画比古呂会事務局 竹中啓子

☎〇七六七(二六八)七〇一六

おことわり

7月5日～9日に予定されていた「日韓洋画展」は、主催者側の都合により中止となりました。

アートホール催し物案内

第2回 NANAOミュージックライブコンサート

7月19日(土)
開演 午後7時

日本ジャズ界ベースの第一人者・鈴木勲OMA SOUNDのジャズナイト。ドラムに力武誠、ピアノに佐藤丈青、ギターに長山剛士と素晴らしいメンバー。ジャズファン音楽好きの方お待ちしております。又、地元バンド・中村耕一郎四重奏団も出演致します。

入場料 (大人)二〇〇〇円 (高校生以下)一五〇〇円
主催 NANAOミュージックライブ実行委員会
共催 ラブ・ジャズ・トーク・イン能登
後援 七尾市・七尾港まつり実行委員会・北國新聞社・ラジオななお
連絡先 西川俊太郎
☎〇七六七(五三)三七六一

第22回 北嶺中学校フルバンド部定期演奏会

8月3日(日)
開演 午後2時

日頃の部活動の成果を発表します。18名という少人数ですが、今年もジャズから演歌と幅広く演奏します。今回はベルの演奏や、賛助出演としてお願いしたシンセサイザーとのジョイントにも挑戦します。どうぞ、楽しんで聴いて下さい。

入場料 無料
主催 七尾市立北嶺中学校

共催 七尾市教育委員会・七尾市文化協会
後援 北嶺中学校PTA
連絡先 七尾市立北嶺中学校
☎〇七六七(五八)二二二三

片岡美由紀・平野千恵門下生ピアノ発表会

8月10日(日)
開演 午前10時30分

年長の小さな友達から中学生までの皆さんが日頃の練習の成果を発表する会です。今回初めて出演する生徒さんも多いので、今からドキドキしながら頑張っています。

入場料 無料
主催 片岡美由紀・平野千恵ピアノ教室
後援 ミヤコ音楽堂
連絡先 片岡美由紀
☎〇七六七(五七)一八八六

小川裕二(バリトン)コンサート

8月23日(土)
開演 午後7時

二期会のオペラを中心に活躍を続けている、小川裕二さんのコンサートです。小川沙織さん伴奏によるバリトンの独唱をどうぞお楽しみください。

入場料 無料(入場整理券必要)
主催 能登中部保健福祉センター
後援 七尾市医師会
連絡先 佐藤 日出夫
☎〇七六七(五三)二四八二

中條久美子・酒谷広重門下生ピアノ発表会

8月31日(日)
開演 午前10時

一年の練習の成果を、ピアノ独奏や連弾で発表します。今年はフルート奏者をゲストに迎えるのミニコンサートもあります。

入場料 無料
主催 中條久美子・酒谷広重ピアノ教室門下生
後援 カワイ楽器製作所(株)・開進堂楽器(株)
連絡先 中條久美子
☎〇七六七(二二)一四二二

第24回 等伯まつり

9月5日(金)
開演 午後1時

等伯顕彰セレモニー(予定)
・箏、三絃、尺八合奏 玉木社中 箏祥会
・献茶、献花、献句 奥村社中・七尾文芸のつどい
・コーラス ドルチエママ

入場料 無料
主催 等伯会
後援 七尾市教育委員会・七尾市文化協会
連絡先 石川県七尾美術館
☎〇七六七(五三)一五〇〇



第3回プリランテクラシックコンサート

9月21日(日)
開演 午後6時

ピアノ・フルート・声楽の演奏会です。独奏や二重奏・連弾の他、フルートとギターの共演などのプログラムをお届けします。豊かな音色をどうぞお楽しみ下さい。

入場料 (大人) 一〇〇〇円 (小学生以下) 七〇〇円

主催 プリランテ

後援 北國新聞社・ラジオななお・七尾パソコン家庭教師SE

連絡先 干場一葉

☎〇七六七(七四)一三五一

当館主催の催しアートホール

映画上映会(入場無料)

毎月第2・4土曜日 午後2時

7月12日・26日、8月9日・23日

「蒔絵 寺井直次のわざ」(30分)

9月13日・27日

「利休の茶」 (47分)

「長谷川等伯展」特別講演会

9月15日(月・祝) 午後2時

演題 「描かれた動物たち」

「新たな絵画の時代」

講師 黒田泰三氏(出光美術館 学芸課長)

午後3時30分から簡単なパネルディスカッションを予定しています。

テーマ 「最近の等伯及び長谷川派研究について」

出席者(予定)

黒田泰三氏(出光美術館 学芸課長)

北春千代氏(石川県立歴史博物館 副館長)

当館学芸員

聴講無料(観覧券が必要です)

観覧者二十万人を

達成しました!

「広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展」会期中の五月十三日(火)、当館の観覧者が開館より三十万人に達し、記念セレモニーが行われました。ちょうど三十万人目の観覧者となったのは、富山県高岡市にお住まいの主婦・田畑妙子さんで、北陸電力高岡支店主催の施設見学ツアーに参加しての来館でした。

田畑さんには、当館の嶋崎館長より開催中の展覧会にちなんで、額入りの浮世絵複製画、長谷川等伯展図録、当館オリジナルグッズ、お花などの記念品が贈呈されました。

また、前後賞は同ツアーに参加の富山県西砺波郡福岡町の主婦・山崎澄子さん、高岡市の主婦・立浪弘子さんでした。

おかげさまで当館は平成七年四月に開館してから、今年で八年を経過し、二年後には開館十周年を迎えようとしています。

これまでの皆様のご支援に感謝し、今後より一層、「皆様の心に残り、楽しんでいただける」事業を考えて行きたいと思っております。どうか変わらぬご支援をお願い申し上げます。



子どもワークショップ参加者募集

子どもアーティスト誕生Ⅲ!

日時 7/24・25
7/28・29
10:00~15:00

内容: 地元の彫刻作家を講師に招き、自在に形をかえる粘土を使って作品をつくります。立体造形の楽しさに触れてみませんか? 夏休みの宿題にもピッタリです。

対象: 小学生15名 中学生・高校生15名(要申込)
とも2日間参加できる方

参加費: 無料

講師: 吉田 隆氏 渡部 浩氏

持ち物: おにぎり・水筒・汚れてもいいタオル

よみがえれ! 平成の等伯ねはん図

日時 9/7 9/20
10:00~15:00

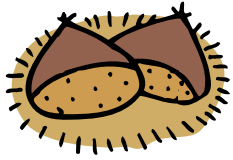
内容: 成蓮寺(七尾市)所蔵の「白描涅槃図」(長谷川等誉筆・七尾市指定文化財・縦163.5cm、横113cm)を約原寸大に印刷し、参加者全員で色を塗り、美術館で展示します。

対象: 小中学生 各日15名(要申込) 低学年は親子参加も可

参加費: 無料

持ち物: おにぎり・水筒・汚れてもいいタオル

お申し込み・お問い合わせは ワークショップ係 ☎0767-53-1500まで



これからの展覧会予定



第1展示室

香りの記念日10周年記念事業

「香りを彩る器展」

10月10日(金)～26日(日)

本年は七尾市が「香りの記念日」を制定して10周年にあたりますが、当館では記念展として香炉や香合など、香りにまつわる様々な器や焼きものを中心に紹介します。

なお、同時開催は「秋の所蔵品展～四季の香り～」(第2展示室)で、草花や海など香りを感じさせる作品など、絵画を中心に展示予定です。



「堆漆菊文香合」音丸耕堂 当館蔵

第1・2・3展示室

2003 イタリア・ポローニャ国際絵本原画展

11月7日(金)～12月7日(日)

会期中無休

毎年イタリアの古都・ポローニャ市で開催される、世界規模の絵本原画公募展入選作品が今年も七尾にやってきます。水彩・パステル・CGなど様々な技法で描かれた個性豊かな作品群は、子どもから大人まで楽しませてくれます。

また、毎週土日には恒例の子どもワークショップ「かんたん絵本を作ろうよ!」も開催します。



「poron's journey」
はぎの ちはる



交通案内

車.....金沢より能登有料道路
利用約1時間20分

タクシー...JR七尾駅より約5分

徒歩.....JR七尾駅より約20分

市内循環バス...JR七尾駅より西回りに
(まりん号) 乗車約6分
(午前9時～午後4時の毎時30分発)

休館日のお知らせ

(7月～9月)

7月 1～4

9月 1～5

次号・第35号(秋号)は10月10日発行予定です。